
「早期パーキンソン病患者の嚥下機能低下を予測する因子の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行ったパーキンソン病患者さんの診察記録を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2019年4月1日から2024年12月31日までにパーキンソン病で埼玉医科大学病院脳神経内科へ入院し、リハビリテーション科で嚥下造影検査を施行し、言語聴覚療法を施行した患者さん。

2. 研究の目的

パーキンソン病患者さんでは、早期から嚥下機能の低下を認めることがありますが、嚥下障害が自覚されにくいことが多いため、パーキンソン病患者さんの嚥下障害を早期に予測できないかと考え、関連する因子を検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年7月21日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、パーキンソン病の罹病期間、血清アルブミン(Alb)値、BMI、MMSE、咽頭の反射の有無、反復唾液嚥下テスト、咳時の最大呼気流量、発話明瞭度、発声持続時間、声量低下、握力。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院リハビリテーション科において、研究責任者である篠田祐介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

パーキンソン病と診断された患者さんの嚥下造影検査を実施した検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 リハビリテーション科 篠田裕介（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

5. 試料・情報の提供方法等について

提供はありません。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。